

【議案第2号】令和4年度鯖江市一般会計予算 民生委員・児童委員への活動費 なぜ増額？

説明 地域のつながりの希薄化、住民の直面する課題の複雑化・多様化に伴い、民生委員・児童委員の果たす役割は、ますます重要であるととともに、負担が増加している。

問 今年11月に民生委員・児童委員、主任児童委員が交代となるが、民生委員の選出においては、各町内で大変苦勞している。民生委員活動の支援策と、スムーズな交代に関する市の支援は。

答 令和4年度は、民生委員・児童委員への活動費を1,000円増額し、支援の強化を図った。ただ、後継者支援は、活動費の額の問題だけではなく、福祉課題の増加に伴う業務範囲の拡大による地域の負担増が原因でもある。今後、市として、本当に必要な業務は何かを見極め、業務内容の見直し等を行い、負担軽減に努めていきたい。

身近に相談できる
なくてはならない存在



【議案第2号】令和4年度鯖江市一般会計予算 地区公民館の運用の在り方と 位置付けは？

問 県内では、公民館をコミュニティセンターと位置づけ、社会教育・生涯学習の拠点としている所もある。本市においては地区の公民館の在り方をどのように考えているのか。

答 本市は、地区の公民館を社会教育と地域コミュニティの拠点と位置づけており、住みよいまちづくりに資する場であると考えている。今のところ、公民館を市の総合支所的なコミュニティセンターにする考えはないが、持続可能なまちづくりのための取組について、市長部局、教育委員会が連携しながら進めていきたい。

問 公民館職員の仕事は、公民館主催事業の企画・実施をはじめ、施設管理や各種団体の事務局事務、まちづくりに関する業務など多岐にわたっている。公民館職員の職務内容と処遇について、この際あらためて整理し、きちんと位置付ける必要があるのではないか。

答 業務内容も多様化していることから、職務内容の整理とそれに応じた処遇改善については、喫緊の課題であると認識しており、やりがいを持って働ける環境整備に努めたい。

【議案第2号】令和4年度鯖江市一般会計予算 地域運動部活動推進事業とは？

説明 生徒にとって望ましい指導の実現と教職員の働き方改革の推進を図るため、休日の部活動について、市内の総合型スポーツクラブと連携し、部活動の地域移行を推進するものである。

問 この事業は今年度も、3つの中学校で5つの部活動について、国のモデル事業として実施してきたが、どのように評価しているのか。また、市独自の学校業務改善方針を策定しているが、現在の市内教職員の勤務実態は。

答 コロナ禍の影響で、活動開始の時期は遅れたが、学校とスポーツクラブとの連携が進むなど、一定の環境づくりができたことと評価している。一方で、指導者と教員の意思疎通の問題や活動場所の確保などの課題も明らかになってきた。新年度には、3つの中学校で10程度の部活動に拡大していきたい。

また、方針の策定後、学校と教育委員会が連携して超過勤務の削減に取り組んできた。今後も教職員一人一人が勤務時間を意識した働き方に努め、組織として休暇を取りやすい環境づくりを行うなど、引き続き働き方改革に努めていきたい。

